

海軍公報

第二千八百六十六號

大正十一年五月一日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第一六二六號

大正十年七月官房第二六四二號ニ依リ海軍生徒ニ貸與シタル被服物品ハ本年達第百三號附則第二項第一號ノ被服物品ニ之ヲ充ツ

大正十一年四月二十九日

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

官房第一六二七號

勅令第二百二十六號海軍服制中改正ニ伴ヒ改正スヘキ事業服ハ従前ノ規定ニ依ル貯藏品ノ在ル限り之ヲ混用ス

大正十一年五月一日

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎

○通牒

軍第二三五號

大正十一年五月一日

海軍省軍務局長 堀内三郎
海軍省人事局長 古川鈺三郎

各 鎮守府 參謀長殿
各 艦隊 部
各 要港 部

馬公及鎮海要港部所屬艦船一時内地
歸還ノ場合之カ乗員ノ恩給法上服役
年數計算ニ關スル件

從來馬公及鎮海要港部所屬艦船カ一時内地ニ歸還ノ場合之カ乗員ノ恩給法上服役年數計算ニ於テ明治三十三年法律第七十六號ニ依ル服役ヲ中斷スルモノト解釋セラレアリ候處爾今是等艦船カ入渠修理、補充交代、演習參加其他任務上ノ必要ニ依リ要港部所屬ノ儘一時内地ニ歸還セル場合之カ乗員ノ服役ハ依然繼續シアルモノト解釋ヲ取テ取放フコトニ内定相成候

右通報ス

追テ本件解釋ハ大正十一年四月三十日以前ノ該當者ニハ遡及セラレサル次第二付申添候

經豫第一九八號

大正十一年五月一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

支 出 官 殿
資 金 前 渡 官 吏

勞働手當配付豫算ノ件

大正九年五月經豫第三二六號通牒別表備考ヲ左ノ通改

追テ本件ハ大正十一年度ヨリ適用ノコトトシ大正四年一月經豫第三號ノ二勞働手當支出標準額ノ件ハ自然消滅ノ儀ト承知相成度

右通牒ス

記

備	一、本表ノ金額ハ下士官兵定員一人ニ對スル一日ノ平均給額トス
	二、各支給應ニ於テハ本表ノ豫算金額ヲ超ヘ支拂ヲ爲スコトヲ得ス但シ同一年度内ニ於テ前月迄ノ定額ニ殘餘アルトキハ繰越

考

- 一、使用スルコトヲ得
- 二、海兵團ニ於テハ年額百五十圓以内ニテ處辨スルモノトス
- 三、特務艦ハ軍艦ニ準ス
- 四、乘員ヲ置カレタル未成艦艇ハ豫備艦艇ノ率ニ準ス
- 五、防備隊附屬ノ特務艇ハ潜水艦母艇タル間豫備軍艦ノ率ニ準ス
- 六、特務艇雜役船ハ艦隊附屬タル間在役軍艦ノ率ニ準ス

○辭令

○大正十一年五月一日

(各通)

構	鐵	見
九重	正義	
前川	哲四郎	
千葉	留吉	
上野	熊彦	
内田	勝	
山中	喜代二	
野間	良明	
米田	忠利	
田中	弘	

任海軍豫備一等兵曹

村松 茂生
長野 四夫
高橋 忍
野村 元光
中野 道義
阿部 清
龜井 喜代次
古川 正三郎
見野 昇
山本 昇
西岡 猛
石井 照夫
小野 清三郎
林 閑一
下野 定吉
神田 幸夫
森岡 楓
松田 正造
小泉 敏雄
善本 頼雄
岡竹 俊雄
藤谷 弘人
片田 茂
杉山 松之助

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

坂本 政吉
鈴木 美治
沼口 好道

○艦船所在

印(イ)ハ(ホ)ナ
指(シ)定(テイ)タ(ト)製(セイ)セ(ス)

○五月一日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、▷金剛、▷磐手、八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、阿蘇、滿州、千早、▽深風、△沖風、△峯風、△矢風、△夕風、△沙風、△太刀風、△帆風、△秋風、△灘風、△羽風、△島風、△夕立、△白露、△夕暮、△三日月、△初雪、△春風、△初春、△初霜、△神風、△響、△如月、△吹雪、△有明、△追風、△疾風、△彌生、△夕風、△浦風、△時雨、△野風、△潜九、△潜八、△潜一四、△潜一五、△潜二六、△潜二五、△潜二九、△潜三〇、△潜三九、△潜三八、△潜四〇、△潜四一、△鴻、△雉、△鷗、△白鷹、△尻矢、△青島、△高崎

【石川島】 蓬、△鼠

【横濱】 安宅、大泊

【浦賀】 五十鈴、遠

【大湊】 △櫻、△椿、△榎、△桑

【吳】 ▷天龍、▷矢矧、伊勢、球磨、多摩、扶桑、

〔大 阪〕 蓼
 〔神 戶〕 木曾、大井、加賀、潜三二、潜三三、潜四六、潜四七
 〔佐 世 保〕 日向、霧島、比叡、出雲、長良、由良、龍田、肥前、敷島、常磐、最上、磯城、臼杵、桂、梅、楓、榎、檜、柳、桃、竹、榎、梨、樅、松、柳、栗、梅、榆、椿、菱、藤、白、雪、霞、野分、松風、潜二二、潜一八、潜三三、潜四五、潜六二、区鷲、鶉、雲雀、鵲、勞山

〔長 崎〕 土佐、名取
 〔馬 公〕 潜四三、潜四二、野島
 〔新 舞 鶴〕 春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、吾妻、新高、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、水七三、水七二、水七四、水七五

〔鎮 海〕 柏、杉、松、榎
 〔旅 順〕 綾波、磯波、浦波
 〔青 島〕 須磨

〔南洋群島〕 勝力、松江、筑前丸、多摩丸

〔浦 鹽〕 日進

〔上 海〕 關東、廣速丸

〔長 沙〕 對馬、隅田

〔宜 昌〕 伏見

〔廣 東〕 宇治

〔タラカン〕 樺、橘、櫻、桐、襟裳

〔航海中〕

日高丸(四月十六日横須賀發南洋へ)

洲崎(四月十九日横須賀發「バツツク」へ)

佐多(四月二十日吳發「タラカン」へ)

知床(四月二十三日新嘉坡發德山へ)

鳥羽(四月二十三日重慶發上海へ)

鶴見(四月二十六日「タラカン」發德山へ)

野間(四月二十七日横須賀發「バツツク」へ)

膠州、武藏(四月二十七日釧路發「バ」港へ)

利根(四月二十七日柴碇發海口へ)

劍崎(四月二十九日舞鶴發吳へ)

韓崎(四月三十日横須賀發吳へ)

筑摩(四月三十日鎮海發仁川へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦滿州宛

五月三日以後

軍艦日向宛

五月八日迄到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

横須賀郵便局留置

佐世保
新舞鶴

○郵便物發送先變更(三月二十七日)

特務艦劍埼宛

本日以後

吳

○特務艦野島行動豫定

地名

着

發

馬公

高雄

五月四日

五月三日

佐世保

西戶崎

五月十二日

五月八日

佐世保

馬公

五月十六日

五月十六日

○休職満期

休職海軍技手黒澤研ハ昨三十日休職満期トナレリ

○取消

四月二十九日本欄郵便物發送先中第三十二潜水艦宛ノ分及事務所撤去ハ孰モ取消ス

海軍大佐從五位勳三等功五級岡村友治四月二十九日於鎌倉町大町名越額田病院卒去、五月二日午後一時藤澤町遊行寺ニ於テ葬儀執行

海軍公報 第二千八百六十六號 大正十一年五月一日

(部内限ナシ) 四〇七

海軍公報

第二千八百六十七號

海軍大臣官房

大正十一年五月二日(火)

○通 牒

官房第一六三九號

函館「ペトロバウロフスク」間定期航路開始ノ件ニ關シ今回遞信省ヨリ左記ノ通依頼有之候
右爲念通牒ス

大正十一年五月二日

海軍省副官 野村吉三郎

記

船監第四三六號

大正十一年四月二十八日

遞信省管船局長

海軍省軍務局長殿

函館「ペトロバウロフスク」間定期航路開始ノ件

本件ニ關シ今般補助航路トシテ左記要項ニ基キ栗林商船株式會社ニ對シ定期航海命令相成候ニ付テハ本航路

使用船ノ露領方面ニ對スル航海ニ付之カ運航上支障ナカラシムル様貴省ニ於テモ相當御配慮相煩度此段及御依頼候也

記

一、航路及寄港地

(イ) 起 點 地 函 館

(ロ) 寄 港 地 小 樽

(ハ) 終 點 地 「ペトロバウロフスク」

二、使用船舶及航海度數

總噸數千五百噸以上最快速力一時間十海里以上ノ船一隻ヲ用キ毎月一回以上一年期間七航海以上

但シ冬季ハ航海ヲ停止スルコトヲ得

三、命令期間

大正十一年四月ヨリ同十二年三月ニ至ル一箇年間

艦本第三二四〇號

大正十一年五月二日

海軍省經理局長 志 佐 勝

海軍艦政本部長 岡 田 啓 介

各關係廳長殿



海軍公報 第二千八百六十七號

大正十一年五月二日

四〇九

其濟組合年金制ニ依ル増徴掛金額ノ件
年金給付ノ爲組合員ヨリ増徴スル掛金額ノ算定方各應
區區ニ亘リ居候處自今ハ男子組合員ノ現掛金額ノ二分
一ヲ年金制ニ依ル増徴掛金トシテ計算スルコトニ一定
致候
右通知ス

○辭令

○大正十一年五月一日

任海軍書記	與村朝二郎
給七級俸	
任海軍書記	磯田基一
給月俸六拾圓	
任海軍書記	谷口喜太郎
給八級俸	
(各通)	進藤益太郎
任海軍技手	高木嘉吉
給五級俸	
依願免本官(海軍省)海軍書記	鹽崎鹿造
海軍書記	與村朝二郎
佐世保海軍工廠附ヲ命ス	

海軍燃料廠附ヲ命ス	海軍書記	磯田基一
(各通)	海軍書記	谷口喜太郎
海軍技手	進藤益太郎	
同	高木嘉吉	
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス	海軍少將	大角岑生

海軍學生銓衡委員ヲ命ス
陸海軍航空協定委員會委員ヲ命ス
戰捷記章授與調査委員ヲ命ス

吳鎮守府在籍海軍機關特務中尉 今野榮治
自今兵籍ヲ横須賀鎮守府ニ指定ス(以上海軍省)
海軍中將 堀内三郎

海軍大學校長在職中ハ參謀官ト心得ヘシ
海軍省出仕海軍少佐 岩村清一
海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ(以上海軍大臣)

海軍技手 吉野作太郎
第五部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)
海軍技手 澤田正躬
第四部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍機關大佐 古立勝吉
海軍艦政本部第三部長與倉守之助病氣引入中同職代
理ヲ命ス(海軍艦政本部)

○艦船所在

▲印ハハカフ
●印ハセキ

○五月二日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、△金剛、△磐手△、八雲、

生駒、山城、榎名△、朝日、三笠、若宮、鳳翔、

北上、富士、阿蘇、滿州、千早、△暴風△、澤風△、

沖風△、矢風△、△夕風△、沙風、太刀風、帆風、△秋風△、

灘風、羽風、島風、△夕立△、白露、夕暮、三日月、

△初雪△、春風△、初春△、△初霜△、神風、響、如月、

吹雪、有明、△追風△、疾風、彌生、夕風、浦風、

時雨、野風、△潜九△、△潜八△、△潜一四△、△潜一五△、

△潜二六△、△潜二五△、△潜二九△、△潜三〇△、△潜三九△、

△潜三八△、△潜四〇△、△潜四一△、△鴻△、雉、鷓、白鷹、

尻矢△、青島△、高崎

【石川島】 蓬、鹽

【横濱】 安宅、大泊

【浦賀】 五十鈴、蓮

【大湊】 △櫻、椿、榎、桑

【大】 吳 △天龍、△矢矧、伊勢、球磨、多摩、扶桑、

攝津、鞍馬、伊吹、淺間△、駒橋、平月、明石、石見、千歲、

淀、△菊月△、水無月、長月、△藤△、萩△、藩△、萬、

△谷風△、菊、葵、江風、卯月、△潜一〇△、△潜一一△、△潜一二△、

△潜一三△、△潜一六△、△潜一七△、△潜二三△、△潜一九△、

△潜二〇△、△潜二三△、△潜二四△、△潜二七△、△潜三五△、△潜三四△、

△潜三六△、△潜二八△、△潜三七△、△潜四四△、大和△、能登呂△、

室戸

【神戶】 △木曾、大井、加賀、△潜三一△、△潜三二△、

△潜四六△、△潜四七

【佐世保】 日向△、霧島、比叡、出雲、長良、由良、

龍田△、肥前、敷島、常磐△、最上、磐城、△楠△、桂△、

梅△、楓△、△榎△、△柳△、△桃△、△竹△、△榎△、△梨△、△樅△、

△栞△、△栗△、△梅△、△楡△、△葎△、△萩△、△白雪△、△野分△、△松風△、

△潜二一△、△潜一八△、△潜三三△、△潜四五△、△潜六二△、△鷺△、

鷲、雲雀、鶴、勞山△

【大村灣】 菱

【長崎】 土佐、名取

【馬公】 △潜四三△、△潜四二△、野島

【新舞鶴】 口春日△、安藝、薩摩△、鹿島、香取、

吾妻△、新高△、△若葉△、潮、朝風、子日、△海風△、

山風△、檜、榎、△時津風△、磯風、天津風、濱風、沼風、

△水七三△、△水七二△、△水七四△、△水七五

【鎮海】 △柏△、△杉△、△松△、△榎

【仁川】 筑摩

【青島】 須磨

【南洋群島】 勝力、松江、筑前丸、多摩丸

【浦鹽】 日進

【上海】 關東、廣遠丸

【長沙】 △對馬△、隴田

【宜昌】 伏見

【廣東】 字治

檣、橋、櫻、桐

【タラカン】 標裳

【航海中】

日高丸(四月十六日横須賀發南洋へ)
 洲崎(四月十九日横須賀發「バリツクババン」へ)
 佐多(四月二十日吳發「タラカン」へ)
 知床(四月二十三日新嘉坡發德山へ)
 烏羽(四月二十三日重慶發上海へ)
 鶴見(四月二十六日「タラカン」發德山へ)
 野間(四月二十七日横須賀發「バリツクババン」へ)
 膠州、武藏(四月二十七日釧路發「ベ」港へ)
 利根(四月二十七日柴棍發海口へ)
 劍埼(四月二十九日舞鶴發吳へ)
 韓崎(四月三十日横須賀發吳へ)
 綾波、磯波、浦波(一日旅順發天津へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更
 第二驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ澤風ヨリ峯風ニ變更セリ
 第十四驅逐隊司令ハ同日司令驅逐艦ヲ菊ヨリ谷風ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第十二驅逐隊(綾波、磯波、浦波)宛
 爾今 天津日本租界

○栗林商船株式會社汽船神戸丸勘察加定期航路日程表

第一次	第二次	第三次
小 檜 館	小 檜 館	小 檜 館
五月五日	五月二十八日	六月十九日
五月四日	五月三十一日	六月十八日
五月七日	六月六日	六月二十一日
五月十二日	六月九日	
五月十五日	六月十一日	
五月十九日	六月十三日	
五月二十四日	六月十六日	
五月二十六日	六月十九日	
五月二十九日	六月二十二日	
五月三十一日	六月二十四日	

海軍公報

第二千八百六十八號

海軍大臣官房

大正十一年五月三日(水)

○令達

官房第一六五九號

海軍軍醫大尉 堀田 慎之

南洋交通船筑前丸ニ設置ノ第三海軍軍用郵便所ハ五月二日限り之ヲ廢止ス

大正十一年五月三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

○辭令

遞信局書記 佐藤 良助

海軍軍用通信吏ヲ免ス(謂ハ海軍省)

遞信局書記 南 徳三郎

海軍軍用通信吏ヲ免ス(謂ハ海軍省)

海軍少佐正六位勳四等功五級 原 完二

水路部ニ於ケル編曆ニ關スル計算事務ヲ囑託ス

但報酬月額七拾五圓ヲ給シ部内限り奏任官待遇トス(謂ハ海軍省)

大正十一年五月施行ノ海軍生徒採用試験臨時委員ヲ免ス
海軍軍醫大尉 杉村 好次

大正十一年五月施行ノ海軍生徒採用試験臨時委員ヲ命ス(以上謂ハ海軍省)

第一部勤務兼第二部勤務ヲ命ス(謂ハ海軍艦政本部)
海軍中佐 伊藤 彰五郎

○艦船所在

▲印(ハ、ハ、ハ)ノ指定ヲ受ケル

○五月三日午前十時調

【横須賀】 口長門、△金剛、△磐手、△八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、鳳翔、北上、富士、阿蘇、滿州、千早、△峯風、△澤風、△沖風、△矢風、△夕風、△沙風、△太刀風、△帆風、△秋風、△離風、△初風、△島風、△初雪、△春風、△初春、△初霜、△神風、△戀、△如月、△吹雪、有明、△追風、疾風、△彌生、夕風、浦風、時雨、野風、△潛九、△潛八、△潛一四、△潛一五、△潛二六、△潛二五、△潛二九、△潛三〇、△潛三九、

海軍公報 第二千八百六十八號 大正十一年五月三日

四二五

【石川島】 蓬、鹽
【廣濱】 安宅、大泊
【浦賀】 五十鈴、蓮
【館山】 若宮、夕立、白露、夕暮、三日月
【大湊】 巨櫛、椿、榎、桑
【吳】 巨天龍、巨矢矧、韓崎、伊勢、球磨、多摩、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、駒橋、平戸、明石、石見、千歲、淀、巨菊月、水無月、長月、巨藤、萩、薄、萬、巨谷風、菊、葵、江風、卯月、巨潛一〇、潛一一、潛一二、巨潛一三、潛一六、潛一七、巨潛二二、潛一九、潛二〇、巨潛二二、潛二四、潛二七、巨潛三五、潛三四、潛三六、潛二八、潛三七、潛四四、大和、能登呂、室戸、劍崎

【大坂】 巨木曾、大井、加賀、潛三一、潛三二、潛四六、潛四七
【佐世保】 日向、霧島、比叡、出雲、長良、由良、龍田、肥前、敷島、常磐、最上、嵯峨、巨楠、桂、梅、楓、巨櫻、檜、柳、桃、巨竹、巨榎、巨梨、巨樅、巨榎、栗、梅、楡、巨葦、巨白雲、巨野分、松風、巨潛二一、潛一八、潛三三、潛四五、潛六二、巨鷲、巨鶴、雲雀、鶴、勢山

【大村灣】 菱

【長崎】 土佐、名取
【馬公】 巨潛四三、潛四二
【高雄】 野島
【新舞鶴】 巨春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、吾妻、新高、巨若葉、潮、朝風、巨日、巨海風、山風、檜、榎、巨時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、巨水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】 巨柏、杉、松、榎
【仁川】 巨旣波、磯波、浦波
【天津】 巨綾波、磯波、浦波
【南洋群島】 勝利、松江、多摩丸、日高丸
【浦壘】 日進
【上海】 關東、膠州、武藏、廣速丸
【長沙】 伏見
【宜昌】 宇治
【汕頭】 巨樺、櫻、桐
【パルクマン】 洲崎
【タラカン】 襟裳

【航海中】
佐多(四月二十日吳發「タラカン」)
知床(四月二十三日新嘉坡發德山)
鳥羽(四月二十三日重慶發上海)

鶴見(四月二十六日「タラカン」發徳山へ)
 野間(四月二十七日横須賀發「バリックババン」へ)
 利根(四月二十七日柴根發海口へ)
 陸奥(二日横須賀發佐世保へ)
 須磨(二日青島發佐世保へ)

○雜款

○特務艦尻矢行動豫定

地名	着	發
横須賀	五月二十五日	五月十五日
タラカン	六月八日	二十九日
徳山	六月八日	六月十二日
横須賀	十五日	

○特務艦大泊行動豫定變更(四月十二日)
(本欄参照)

地名	着	發
横濱	五月六日	五月五日
鳥羽	五月六日	八日
杵築	十一日	十二日
舞鶴	十三日	

海軍公報 第二千八百六十八號 大正十一年五月三日 (附錄一枚、部内限一頁) 四一七

海軍公報 附録

大正十一年五月三日(水)
海軍大臣官房

○ 雜 款

大正十一年度練習艦隊
出帆(淺)手(雲)間
航路豫定表

地名	距離	航海日數	碇泊日數	著月日	發月日	記事
横須賀	三、三九〇	一四		七 九	六 二六	一八〇度子午線 ヲ越エルヲ以テ 一日遅レトス
○ホノルル	二、二八〇	八	四	七 二一	七 一三	
○サンペドロ	二、九八〇	一〇	四	八 一四	七 一五	
○パナマ	五〇	一	三	八 一七	八 一七	
○コロム	四、四五〇	*二三	四	九 一七	九 一五	
○リオ、デ、ジャネロ	二、三〇〇	一	三	九 一六	九 一四	記念祭 九一七
○モンテ、ビデオ	八九〇	四	八	九 一八	九 一五	
○バイヤランカ	五〇〇	二	七	一〇 一七	一〇 一五	
○ゲイブタウン	三、八〇〇	*二〇	七	一〇 一八	一〇 一五	
○グロブバン	八七〇	四	五	一一 一三	一一 一六	
○モサンビク	一、〇五〇	五	四	一一 一四	一一 一六	
マハ	一、一〇〇	五	四	一一 一四	一一 一六	
○古倫	一、七〇〇	*九	三	一一 一三	一一 一三	
○新嘉坡	一、六二〇	七	八	一一 一四	一一 一六	
○香港	一、四五〇	六	七	一一 一七	一一 一三	
○馬公	三二〇	二	五	一一 一七	一一 一四	
○基隆	一九〇	一	四	一一 一五	一一 一四	
○上海	四二〇	二	三	一一 一〇	一一 一三	
○馬尾	九二〇	四	五	一一 一五	一一 一〇	
○横須賀	一八〇	一	八	一一 一三	一一 一〇	
合計	二八、三八〇					

(備考)
一、狀況許ス場合ニ於テハ「モンテ、ビデオ」ヨリ「ラブラタ」ニ寄港シ更ニ「モンテ、ビデオ」ニ寄港ノ
上炭水ヲ補充シ「ラブラタ」ニ直航ス此場合ニ於テハ「バイヤランカ」ノ寄港炭水補充ヲ取
止メ行動ヲ左ノ通豫定ス

二、距離ハ概算トス ○印ハ豫定碇炭地
三、航海日數ハ原速十節ノ算出ニ依ル
但シ*印ヲ附セルモノハ原速十二節
四、總日數 二二三日 總航程 二八三八〇浬

地名	距離	航海日數	碇泊日數	著月日	發月日	記事
モンテ、ビデオ	一〇〇	一	三	九 一八	一〇 一	上記以後ノ寄 港地ハ豫定表 ノ通トシ發着 ヲ五日宛繰下 ク
ラブラタ	一〇〇	一	四	一〇 一	一〇 一五	
○モンテ、ビデオ	三、五五〇	*一九	五	一一 一五	一一 二〇	
ケイブタウン			五	一一 一八	一一 二三	

海軍公報

第二千八百六十九號

大正十一年五月四日(木)

海軍大臣官房

天

○ 令 達

官房第一六八二號

本年四月官房第一三〇三號海軍購買名簿中左ノ通改正ス

大正十一年五月四日

海軍大臣 加藤友三郎

二、金属材料類 一九項中 左ノ通追加ス

株式會社安來製鋼所 島根縣能義郡安來町

三、機械、器具類 七項中「合名會社晴商會、東京市芝區柴井町」ヲ削除ス

八項中 左ノ通追加ス

松尾 製作所 東京市芝區白金三光町

八、二二、項中「合資會社東京螺子製作所」ヲ「東京螺子製作所」ニ改メ

一七項中 左ノ通追加ス

白 楊 社 東京市麻布區飯食片町

二二項中「東京螺旋錠株式會社、東京府北豊島郡日暮里字金杉」ヲ、二三項中「副島龍雄、東京市芝區

三浦四國町」ヲ追加ス

海軍公報 第二千八百六十九號

大正十一年五月四日

四九

<p>九、石綿類 一項中「木村石綿株式會社、東京府荏原郡大井町」ヲ「岡原石綿工業部、東京市京橋區瀧山町」ニ改ム</p> <p>一六、絲、紐、布、氈類 一項中「日本麻糸株式會社、東京市京橋區新着町」ヲ追加ス</p> <p>一七、雜品類 二項ヲ左ノ通改ム</p>	
<p>二 洋食器類(經營需品) (陶磁器、硝子類) ヲ除ク</p>	<p>株式會社 明治屋 合名會社 十一屋商店 合資會社 森高商店</p> <p>橫濱市本所一丁目 東京市京橋區尾張町新地 大阪市南區壘屋町</p>
<p>三項ノ次ニ左ノ通追加ス</p>	
<p>三ノ二 洋食器中硝子類</p>	<p>株式會社 明治屋 合名會社 十一屋商店 合資會社 森高商店 株式會社 岩城硝子製造所 島田硝子製造所</p> <p>橫濱市本所一丁目 東京市京橋區尾張町新地 大阪市南區壘屋町 東京市本所區菊川町二丁目 大阪府西成郡鷺洲町</p>
<p>一八、被服物品ノ部門ヲ設ケ左ノ通追加ス</p> <p>一八、被服物品</p>	
<p>一 四 號 絨 五 號 絨 裏 絨</p>	<p>東京毛織株式會社 日本毛織株式會社</p> <p>東京市麴町區有樂町三丁目 神戸市西出町一丁目</p>

七	六	五	四	三	二
紺 木綿	紺 木綿 白 木綿 大 市白 小 巾白	晒 厚木 生 厚木 薄 綾木 生 薄綾木 生 小倉	葛 木織 小 倉	黒 綾 木綿	厚 セ ラ ネ ル 毛 布
日本製麻株式会社	高島屋飯田株式会社	正織株式会社 豐濱織物株式会社 高島屋飯田株式会社	正織株式会社 富士瓦斯紡績株式会社 和歌山紡績株式会社	高島屋飯田株式会社	東京毛織株式会社 日本毛織株式会社 大阪毛織株式会社
東京市日本橋區品川裏河岸 東京市麴町區有樂町一丁目	東京市京橋區西紺屋町	岡山縣都窪郡茶屋町 香川縣三豊郡豐濱町	岡山縣都窪郡茶屋町 東京府南葛飾郡大島町 和歌山市傳法橋南	東京市京橋區西紺屋町	東京市麴町區有樂町二丁目 神戸市西出町 大阪府西成郡豊崎町

海軍公報 第千八百六十九號 大正十二年五月四日

四三二

1822

八	半 半 長 靴	木 木 木 靴	東京市葛飾區其町 東京府南足立郡千住町
九	食 器 碗	東京瓦斯電氣工業株式會社 玳瑁 鐵器 株式會社	東京市麴町區大手町一丁目 三重縣桑名郡桑名町
一〇	雨 衣 塗 料	日本加工織布株式會社	東京市深川區佐賀町八丁目

官房第六八三號
海軍司法警察官ノ職務ニ關シテハ海軍軍法會議法ニ依
ルノ外司法警察官執務心得ニ準據スル儀ト心得ヘシ
大正十一年五月四日
海軍大臣 男爵 加藤友三郎

(各通)
海軍遊藝學生會(請海軍省)
安宅儀裝員ニ要スル經費支拂ノ爲メ臨時資金前渡官
吏ヲ命ス(請海軍省經理局支出官)

○ 辭 令

○大正十一年五月三日
任海軍屬
山口 清二

給十級俸
海軍省經理局附ヲ命ス(請海軍省)
山口 清二

○ 艦 船 所 在

○五月四日午前十時調
山口 道尹

【横須賀】口長門、金剛、磐手、八雲、生駒、
山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、
阿蘇、滿洲、千早、藤原、澤風、沖風、矢風、

区夕風、沙風、太刀風、帆風、区秋風、濼風、羽風、
 島風、区初雪、春風、初春、区初霜、神風、霧、
 如月、吹雪、有明、区追風、疾風、彌生、夕風、
 時雨、野風、区潜九、潜八、区潜一四、潜一五、
 区潜二六、潜二五、区潜二九、潜二八、潜三〇、
 区潜三九、潜三八、潜四〇、潜四一、区鴻、雉、鷓、
 白鷹、尻矢、青島、高崎
 【石川島】 蓬、蝨
 【横濱】 安宅、浦風、大泊
 【浦賀】 五十鈴、蓮
 【箱山】 区夕立、白露、夕暮、三日月
 【大湊】 区櫻、椿、榎、桑
 【奥】 区天龍、区矢矧、韓崎、伊勢、球磨、多摩、
 扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、駒橋、平戸、明石、
 石見、千歳、淀、区菊月、水無月、長月、区藤、秋、
 薄、区高、区谷風、菊、葵、江風、卯月、区潜一〇、潜一一、
 潜一二、区潜一三、潜一六、潜一七、区潜二三、
 潜一九、潜二〇、区潜二二、潜二四、潜二七、潜三五、
 潜三四、潜三六、潜三七、潜四四、大和、能登呂、
 室戸、劍埼
 【大阪】 麥
 【神戶】 木曾、大井、加賀、潜三一、潜三二、
 潜四六、潜四七
 【佐世保】 日向、舞島、比叡、出雲、長良、由良、
 龍田、肥前、敷島、常磐、最上、嵯峨、区楠、桂、
 梅、楓、区櫻、檜、柳、桃、区竹、榎、梨、榎、
 区柿、栗、梅、榆、区葦、蕨、菱、区白雪、櫻、野分、
 松風、区潜二一、潜一八、潜三三、潜四五、潜六二、
 区鶯、朝、雲雀、鶴、勞山、
 【長崎】 土佐、名取
 【馬公】 区潜四三、潜四二
 【高雄】 野島
 【新舞鶴】 区春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、
 吾妻、新高、区若葉、湖、朝風、子日、区海風、
 山風、檜、榎、区時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、
 区水七三、水七二、水七四、水七五
 【鎮海】 区柏、杉、松、榎
 【仁川】 筑摩
 【天津】 区綾波、磯波、浦波
 【南洋群島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸
 【浦鹽】 日進
 【上港】 關東、膠州、武藏、廣速丸
 【長沙】 伏見
 【宜昌】 宇治
 【油頭】 区榎、橘、櫻、桐
 【オックスバン】 洲崎
 【タラカン】 標袋、佐多
 【航海中】

海軍公報 第二千八百六十九號 大正十一年五月四日

四三三

知床(四月二十三日新嘉坡發德山へ)
 島羽(四月二十日白重慶發上海へ)
 鶴見(四月二十六日「タラカン」發德山へ)
 野間(四月二十七日横須賀發「バツクバ」へ)
 陸奥(二日横須賀發佐世保へ)
 須磨(二日青島發佐世保へ)
 利根(二日榆林港發馬公へ)

○雜款

○郵便物發送先
特務艦野島宛

五月十五日迄到着見込ノモノハ、佐世保郵便局留置
 同 二十二日迄 同 西 戸 崎
 同 二十六日迄 同 佐 世 保
 其ノ後ハ、馬 公

○葡國軍艦寄港
 葡萄牙國砲艦「パトリア」(Patria)本月五日神戸寄港ノ豫定

○伊國軍艦寄港
 伊國軍艦「ソピア」(Soria)ハ本月中旬馬尼刺發基隆ヲ經テ二十五日頃横濱入港ノ豫定

○運用術練習生卒業式
 來ル五月十日午前九時四十五分運用術練習生卒業式並優等卒業者御下賜品拜受式舉行
 道テ當日侍從武官御差遣可相成管
 運用術練習艦 富士

○着任、退廳
 軍務局長大角少將本日着任、前軍務局長堀内中將本日退廳

(部内限二頁)

海軍公報

第二千八百七十號

大正十一年五月五日(金)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍造兵廠附ヲ免シ海軍燃料廠附ヲ命ス(謂海軍省)
 海軍屬 山口 清二
 第一課附ヲ命ス(謂海軍省經理局)

○ 艦船所在

印(ハ)ホ(キ)フ
指定ヲ要セス

○五月五日午前十時調

【横須賀】 口長門、ト金剛、ト磐手、八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、阿蘇、滿州、千早、區峯風、澤風、沖風、矢風、區夕風、沙風、太刀風、帆風、區秋風、灘風、羽風、島風、區夕立、白露、夕暮、三日月、區初雪、春風、區初春、區初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、區追風、疾風、彌生、夕風、時雨、野風、區潛九、潛八、區潛一四、潛一五、區潛二六、潛二五、區潛二九、

海軍公報 第二千八百七十號 大正十一年五月五日

四二五

【石川島】 蓬、鹽
 區鴻、雄、鷗、白鷺、尻矢、青島、高崎

【横濱】 安宅、浦風、大泊
 區賀 五十鈴、速

【大湊】 區櫻、椿、楓、桑
 吳 區天龍、ト矢矧、韓崎、伊勢、球磨、多摩、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、駒橋、平戶、明石、石見、千歲、淀、區菊月、水無月、長月、區藤、萩、薄、萬、區谷風、菊、葵、江風、卯月、區潛一〇、潛一一、潛一二、區潛一三、潛一六、潛一七、區潛二三、潛一九、潛二〇、區潛二二、潛二四、潛二七、區潛三五、潛三四、潛三六、潛三七、潛四四、大和、能登呂、室戶、劍崎

【大阪】 蓼
 區神 戶 區木曾、大井、加賀、潛三一、潛三二、潛四六、潛四七

【佐世保】 日向、霧島、比叡、出雲、長良、由良、龍田、肥前、敷島、常磐、最上、區楠、桂、梅、楓、區檉、檜、柳、桃、區竹、榎、梨、樅、區栲、栗、梅、楡、區葎、炭、菱、區白雪、霞、野分、

松風、區潛二、潛一八、潛三三、潛四五、潛六三、
 區鷲、鷲、雲雀、鶴、勞山、
 【長 崎】 土佐、名取
 【馬 公】 區潛四三、潛四二
 【新舞鶴】 口春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、
 吾妻、新高、若葉、潮、朝風、子日、區海風、
 山風、檜、榎、區時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、
 區水七三、水七二、水七四、水七五
 【鎮 海】 松、榎
 【仁 川】 甄摩
 【天 津】 區綾波、磯波、浦波
 【南洋群島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸
 【浦 鹽】 日進
 【港 灣】 關東、膠州、武藏、廣速丸
 【上 海】 對馬、隅田
 【漢 口】 鳥羽
 【長 沙】 伏見
 【宜 昌】 宇治
 【油 頭】 區樺、橘、櫻、桐
 【タラカン】 佐多

【航海中】

知床(四月二十三日新嘉坡發德山へ)
 鶴見(四月二十六日「タラカン」發德山へ)
 野間(四月二十七日橫須賀發「バリックパン」へ)
 陸奥(二日橫須賀發佐世保へ)
 須磨(二日青島發佐世保へ)
 利根(二日榆林港發馬公へ)
 標袋(二日「タラカン」發橫須賀へ)
 艦舩(四日佐世保發上海へ)
 區柏、杉(四日鎮海發)
 野島(四日高雄發佐世保へ)
 洲埼(四日「バリックパン」發德山へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
 軍艦蟻峨宛
 本日以後
 上海日本郵便局氣付

○事務所設置
 舊臨時南洋群島防備隊殘務整理事務所ヲ橫須賀鎮守府
 内ニ設置ス(臨時南洋群島防備隊殘務整理委員)

○著任

新任海軍軍令部次長加藤中將五月四日著任、前任安保
中將ト事務引繼ク了ス

海軍公報 第二千八百七十號

大正十二年五月五日

(附録表一枚 部内限三頁)

四二七

1828

海軍公報 附録

大正十一年五月五日(金)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書

去ル四月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

第一門 海陸軍事

馬鹿鳥の聲 海軍中將岩村俊武著 大正十一 三七七

第二門 法律、政治、經濟、社會、統計

法律及 文化史的觀察 獨逸、ロツハイマー著 大正十一 三七〇

華府會議大觀 東方通信社調査部編 大正十一 三六〇

華盛頓會議と永久平和 常田力著 大正十一 三六五

一九二一年 日米外交史 米國トリット著 大正十一 三七〇

世界の經濟は如何に動くか 堀江壽一著 大正十一 三七二

世界の經濟は如何に動くか 堀江壽二著 大正十一 三七三

吾輩の社會觀 大隈重信述 大正十一 三七〇

文化諸相 鼓 常良譯 大正十 三七二

濟時危言 物集高見著 大正十一 三七二

第三門 歴史傳記

假名の日本書記 二册 植松安著 大正九 三七九

第四門 地誌、紀行

英國皇太子生立の記 英國ミス、ザンダース著 大正十一 三六四

傳説の跡を尋ねて 齋藤溪舟著 大正十一 三七九

サガレンの文化と富源 石川芳太郎著 大正十一 三七三

鐵道哩程及乘車賃計算便覽 渡邊香松編 大正十 三七五

滿蒙全書 第五卷 南滿洲鐵道株式會社社長室調査課編 大正十 三六五

改造の獨逸より 池田林儀著 大正十一 三七八

練習艦隊歡迎記念 南米ブラジル國 在留同胞練習艦隊歡迎團編 大正十 三三五

最新式 大東京地圖 東京日日新聞社編 大正十一 四八〇

第五門 宗教、哲學、教育、文學

親鸞聖人の出現と其思想 朝日磯濱著 大正十一 三七〇

自我の黎明へ ヲグナー著 大正十一 三七九

王陽明研究 安岡正篤著 大正十一 三六七

日本國民性論 坂井衡平著 大正十一 三六五

性格解剖學 安東源治郎譯 大正十一 三七八

人格の出發 島本愛之助著 大正十一 三七〇

海軍公報 附録 大正十一年五月五日

1830

修養處世の道 瀧澤榮一述 大正十一 大隈侯一言一行 中島謙吉著 大正十一 個性教育 松月秀雄著 大正十一 學問及び學者 鈴木梅四郎著 大正十一	三三〇八 三三〇六 三三〇一 三三〇〇
第六門 數學、理學、醫學 驚異の科學 山田豊彦譯 大正十一 アインシュタイン相對性原理講話 桑本誠雄譯 大正十 生 命 論 永井潜著 大正十、第十七版 櫻花圖譜 附櫻花概説 三好學著 大正十	三三〇三 三三〇二 三三〇一 三三〇〇
第七門 工 學 電氣工學ボックストンツク 若田田利助共編 大正十、 高津清共編 第十一版 第八門 産業、美術、諸藝 日用品の見分け方 野中正著 大正十一 最新寫真術 鴨居武著 大正九、第八版 實地寫真術講習録 北原鐵雄著 大正十、第二十三版	三二〇五 三二〇四 三二〇三 三二〇二 三二〇一 三二〇〇
洋書之部 I. NAVAL & MILITARY. Marks, L. S. The airplane engine. N. Y. 1920. 5313 II. POLITICS. Reinsch, P. S. An American diplomat in China. N. Y. 1922. 5317	
Wenker, Friedrich Der unvermeidliche Krieg zwischen Japan und Amerika. Stuttgart 1921. 1147	
III. HISTORY. Blankenhorn, Heber. Adventures in propaganda. Letters from an intelligence officer in France. Boston 1919. 5316 Kirchhoff, Hermann. Seekriegsge- schichte in ihren wichtigsten Abschnitten mit Berücksichtigung der Seekräfte. VI. Teil. 1910-1920. Hannover 1921. (Fortsetz- ung des Stenzel-works: " Seekriegsgeschichte... ") 1109	
IV. GEOGRAPHY. Dingle, E. J. (ed.) The new map of China. Compiled from the latest and most authentic surveys by The Far Eastern Geographical Establishment. 最新中華全國 Shanghai n. d. A. 183 V. LANGUAGE.	

- Jones, Daniel. An English pronouncing dictionary using the alphabet of The International Phonetic Association. London 1921. 5318
- VI. SCIENCE.
- Graham, John. An elementary treatise on the calculus for engineering students. London 5th ed. 1919. 5312
- Walker, James. Introduction to physical chemistry. London 1919. 5310
- VII. ENGINEERING.
- Gray, John. Practical design of marine single- and double-ended boilers including uptakes, etc. London 2nd ed. 1921. 5315
- Sothorn, J. W. M. Oil fuel burning in marine practice. Glasgow 1920. 5314
- Schenker, W. Fuel and lubricating oils for diesel engines. London 1921. 5311
- VIII. INDUSTRY.
- Gooday, W. E. Petrol and petroleum spirits. A description of their sources, preparation, examination and uses. London 1919. 5309
- Rowntree, B. S. The human factor in business. London 1921. 5308

海軍公報附録

大正十一年五月五日(金)

海軍大臣官房

○北日本汽船株式會社汽船函館・尼港間定期航路日程表

備考	航復							船名	航往							港名
	函館	小樽	大泊	真岡	アレンキサン	ドロフスク	ニコラエウ		ニコラエウ	ドロフスク	アレンキサン	真岡	大泊	小樽	函館	
六月十三日「ニコラエウ」發ヨリ九月二十八日「ニコラエウ」發迄ノ各航路ニ於テハ漁獲廻船ヲ特ニ「ニコラエウ」發ニ限リ一日早發スルニト	後三時	前十一時	前十三時	前十四時	前十四時	後七時	前七時	丸像宗	前十時	前八時	前八時	前八時	前八時	前八時	四月	
	二三	二三	二二	二〇	一九			丸和海			一五	一四	一三	一一	四月	
	二九	二八	二七	二六	二五			丸像宗			三三	三二	三一	二〇	四月	
	八	七		六	五四	三		丸和海			三三	三一	三〇	二九	四月	
	一五	一四	一三	一二	一一	九		丸像宗			九	九七	六	五	五月	
	二四	二三		二二	二〇	一九		丸和海			一九	一七	一六	一五	五月	
	三〇	二九	二八	二七	二六	二四		丸像宗			二四	二二	二一	二〇	五月	
	二二	二一		二〇	一九	七	七	丸和海			四	三	三一	三〇	五月	
	一九	一八	一七	一六	一五	一三	一三	丸像宗			一〇	九	九七	六	五月	
	三	二		一	〇	二八	二八	丸和海			二五	二四	二二	二〇	六月	
	九	八	七	六	五四	三	三	丸像宗			三〇	二九	二七	二五	六月	
	二三	二三		二二	二〇	一八	一八	丸和海			一五	一四	一一	一〇	六月	
	三	二		一	〇	二八	二八	丸像宗			二五	二四	二二	二〇	六月	
	二二	二一		二〇	一九	七	七	丸和海			四	三	三一	三〇	七月	
	二四	二三	二二	二一	二〇	一八	一八	丸像宗			一五	一四	一一	一〇	七月	
	二	一		〇	二八	二八	二八	丸和海			二五	二四	二二	二〇	七月	
	二三	二三		二二	二〇	一八	一八	丸像宗			四	三	三一	三〇	七月	
	三	二		一	〇	二八	二八	丸和海			二五	二四	二二	二〇	七月	
	二二	二一		二〇	一九	七	七	丸像宗			四	三	三一	三〇	八月	
	二四	二三	二二	二一	二〇	一八	一八	丸和海			一五	一四	一一	一〇	八月	
二	一		〇	二八	二八	二八	丸像宗			二五	二四	二二	二〇	八月		
二三	二三		二二	二〇	一八	一八	丸和海			四	三	三一	三〇	八月		
三	二		一	〇	二八	二八	丸像宗			二五	二四	二二	二〇	八月		
二二	二一		二〇	一九	七	七	丸和海			四	三	三一	三〇	九月		
二四	二三	二二	二一	二〇	一八	一八	丸像宗			一五	一四	一一	一〇	九月		
二	一		〇	二八	二八	二八	丸和海			二五	二四	二二	二〇	九月		
二三	二三		二二	二〇	一八	一八	丸像宗			四	三	三一	三〇	九月		
三	二		一	〇	二八	二八	丸和海			二五	二四	二二	二〇	九月		
二二	二一		二〇	一九	七	七	丸像宗			五	四	三一	三〇	九月		
二〇	一九	一八	一七	一六	一四		丸和海				一四	一一	一〇	十月		
二九	二八		二七	二六	二四		丸像宗			二四	二二	二一	二〇	十月		
四	三		二	一	二九		丸和海			二九	二七	二六	二五	十月		

海軍公報

第二千八百七十一號

大正十二年五月六日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第一七二號

本年官房第一一三二號ニ左記ヲ追加ス

軍艦 千早

薩哈噠方面行動中

第六驅逐隊

練習艦隊各艦 遠洋航海中

大正十二年五月六日

海軍大臣男爵加藤友三郎

参照 本年官房第一一三三號ハ海軍給與令施行細則第二十五條備考第三十ヲ適用セサル件ナリ

官房第一七二三號

大正十一年度濠出科目左ノ追加加ス

大正十二年五月六日

海軍大臣男爵加藤友三郎

歳出臨時部

款	項	目	節	解疏	會計科目
(災害費)	舞鶴鎮守府管内風水害復舊費	建造物復舊			ケモ
					ケヒ

○辭令

大正十二年五月五日

任海軍書記 海軍屬勳七等 譜田 峰松

給五級俸

海軍軍令部附ヲ命ス 海軍書記 諸田 峰松
 (各通) 海軍書記 岩 永
 同 海軍書記 丹羽 勇
 同 海軍書記 丹羽 勇

海軍公報 第二千八百七十一號 大正十二年五月六日

四二九

1833

【新舞鶴】 春日、安藤、薩摩、鹿島、香取、吾妻、新高、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮海】 松、柳

【天津】 綾波、磯波、浦波

【南洋群島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸

【浦鹽】 日進

【上港】 關東、膠州、武藏、廣速丸

【漢口】 對馬、岡田

【長沙】 鳥羽

【宜昌】 伏見

【汕頭】 宇治

【タラカン】 紅橋、橋、櫻、桐

佐多

【航海中】

鶴見(四月二十六日「タラカン」發徳山へ)
野間(四月二十七日横須賀發「バリツクババン」へ)
徳島(二月「タラカン」發横須賀へ)

磯崎(四日佐世保發上海へ)
柏、杉(四日鎮海發)
野島(四日高雄發佐世保へ)
洲崎(四日「バリツクババン」發徳山へ)
滿州(四日横須賀發)
駒橋(五日吳發廣島灣へ)
筑摩(五日仁川發秦皇島へ)
大泊(五日横濱發鳥羽へ)
木曾、大井(六日神戸發高松へ)

○雜款

○郵便物發送先

第三十二潜水艦宛

五月九日迄到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

吳 佐世保

○特務艦高崎行動豫定變更(四月十四日)

地名 着

發

横須賀	五月十四日	五月十一日
二見	五月十四日	十七日
横須賀	二十日	二十五日
吳	二十八日	三十一日

舞鶴	六月三日	六月七日
佐保	九日	十二日
舞鶴	十四日	十六日
吳	十九日	二十二日
横須賀	二十五日	

○特務艦野島行動豫定變更(五月一日本欄参照)
 高雄發五月八日ヲ五月四日ニ改メ以後四日宛繰上ク

○事務所撤去

神戸川崎造船所内ニ設置中ノ第三十二潜水艦艦裝員事務所ハ本月五日限り撤去セリ(第三十二潜水艦艦裝員長)

(部内限四頁)

【小】 濱 長良 野山

【長】 崎 土佐、名取

【馬】 公 利根、口濱四三、濱四二

【新舞鶴】 口春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、吾妻、新高、若葉、潮、朝風、予日、海風、山風、檜、時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、水七三、水七二、水七四、水七五

【鎮】 海 口柏、杉、松、檜

【秦皇島】 口綾波、磯波、浦波

【天津】 口勝力、松江、多摩丸、日高丸

【南洋群島】 日進 關東、膠州、武藏、廣速丸

【浦】 口對馬、隅田、磯峨

【上】 口鳥羽

【漢】 口伏見

【長】 口宇治

【宜】 口樺、橘、櫻、桐

【厦】 門

【航海中】

野間(四月二十七日横須賀發「パリックバン」)
機裝(三日「タラカン」發横須賀へ)
野島(四日高雄發佐世保へ)

洲崎(四日「パリックバン」發徳山へ)
滿州(四日横須賀發)
佐多(四日「タラカン」發徳山へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
軍艦筑摩宛 自今 北支那秦皇島

特務艦知床宛 五月十三日迄到著見込ノモノハ 徳山
其ノ後ハ 佐世保

第三艦隊司令部、日向、春日宛
五月十二日迄到著見込ノモノハ 新舞鶴
同 十四日迄 同 鳥取縣賀露
同 十六日迄 同 同境郵便局氣付
其ノ後ハ 新舞鶴
追テ司令部ハ五月十一日春日ヨリ日向ニ變更ノ
豫定

○伊國軍艦寄港豫定變更(五月四日)
伊國軍艦「リビア」(Libia)ハ基隆寄港後横濱寄港ヲ
取止メ上海ニ向フロトニ豫定ヲ變更セリ

○電話架設

中野二四三

海軍省人事局第二課長
海軍大佐 常松 憲三
豊多摩郡野方村字上沼袋一〇一

芝三七〇五番

海軍航空機試験所長
海軍大佐 上田 良武
麻布區富士見町四三

○正誤

○本月六日辭令欄四三〇頁六行海軍教育本部附ヲ命シハ
免シノ誤

海軍公報 第千八百七十二號

大正十一年五月八日

(部内限二頁)

四三五

海軍公報

第二千八百七十三號

大正十一年五月九日(火)

海軍大臣官房

○通牒

經給第三〇號ノニ

家族移轉料支給ノ件ニ關シ別紙ノ通牒答セリ
右通牒ス

大正十一年五月九日

海軍省 經理局

(別紙)

吳經第五號ノ三八一

大正十一年四月二十八日

吉村吳海軍經理部第一課長

中野海軍省經理局第二課長殿

家族移轉料給否ニ關スル件

海軍砲術學校、水雷學校特修科學生及專攻科學生並ニ
潜水學校選科學生ノ修業期間ハ當該學校規則ニ依レハ
一年以内トアルモ事實ハ十二月一日ノ命免エシテ滿一
ケ年ノ修業ヲ爲シツツアル現狀ナレハ修業期間一ケ年

ノ高等科學生ト期間ニ於テ異ナルヲ以テ此等事實
一ケ年ノ修業ヲ爲ス者ハ大正九年九月官房第三三九五
號第四ニ該當セサルモノトシテ家族移轉料支給差支ナ
キ義ト被存候得共一應御意見承知致度
右照會ス

經給第三〇號

大正十一年五月九日

海軍省經理局第二課長

吳海軍經理部第一課長殿

家族移轉料支給ニ關スル件

吳經第五號ノ三八一照會ノ件ハ御意見ノ通りニ有之候
右同答ス

追テ今後豫メ教程期間ヲ定メ公報ニ掲載セラルヘク
候

○辭令

○大正十一年五月八日

(各通)

壯 影 雄
中 村 壽

海軍公報 第二千八百七十三號

大正十一年五月九日

四三七

住海軍技手
給六級俸

(各通)

海軍技手 辻 影雄
中村 壽

吳海軍工廠附ヲ命ス

海軍機關少佐 兼田 市郎

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍屬 安島 安

海軍大臣官房附ヲ免シ海軍省經理局附ヲ命ス

海軍技手 石黒 秀二郎

依願免本官(以上海軍省)

海軍少佐 藤永 三郎

大正十一年五月施行ノ海軍生徒採用試験臨時委員ヲ命ス(海軍省)

(各通)

海軍技手 清水 朝揮
鈴木 初太郎

第一部附ヲ命ス(海軍艦政本部)

第四部勤務ヲ命ス 海軍造船少佐 穂積 律之助

海軍書記 岩永 啓

總務部第一課勤務ヲ命ス(以上海軍艦政本部)

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○五月九日午前十時調

【横須賀】 口長門、△金剛、△磐手、八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、阿蘇、千早、△峯風、△澤風、△沖風、△矢風、△夕風、△沙風、△太刀風、△帆風、△秋風、△瀨風、△羽風、△島風、△夕立、△白鷺、△夕暮、△三日月、△初雪、△春風、△初春、△初霜、△神風、△響、△如月、△吹雪、△有明、△追風、△疾風、△彌生、△夕風、△浦風、△時雨、△野風、△潛八、△潛一四、△潛一五、△潛二六、△潛二五、△潛二九、△潛二八、△潛三〇、△潛三九、△潛三八、△潛四〇、△潛四一、△尻矢、△青島、△高橋、第十八小野丸

【石川島】 蓬、△

【横濱】 安宅

【浦賀】 五十鈴、遠

【館山】 区鳩、雄、白鷹

【大湊】 区櫻、椿、榎、桑

【吳】 △木曾、△天龍、△矢矧、韓崎、伊勢、大井、球磨、多摩、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平月、駒橋、明石、石見、千歳、淀、△菊月、水無月、長月、△藤、△萩、△薄、△高、△谷風、△菊、△葵、△江風、△卯月、△潛一〇、△潛一一、△潛一二、△潛一三、△潛一六、△潛一七、△潛二三、△潛一九、△潛二〇、△潛二二、△潛二四、△潛二七、△潛三五、△潛三四、△潛三六、△潛三七、△潛四四、△潛三二、大和、△龍登呂、△室戸、△劍埼、△

1841

【大】 阪 蓼
 【神】 戸 加賀、潜三一、潜四六、潜四七
 【德】 山 鶴見、知床
 【佐世保】 陸奥、日向、霧島、比叡、出雲、由良、
 龍田、肥前、敷島、須磨、常磐、最上、臼楠、
 桂、梅、區、區、區、區、區、區、區、區、區、區、
 梅、榆、區、區、區、區、區、區、區、區、區、區、
 區、區、區、區、區、區、區、區、區、區、
 雲雀、鶴、勞山、野鳥
 【小】 濱 長良
 【大村灣】 巨椹、檜、柳、桃
 【長】 崎 土佐、名取
 【馬】 公 利根、巨椹、橘、櫻、桐、巨潜四三、潜四二
 【新舞鶴】 巨春日、安齋、薩摩、鹿島、香取、
 吾妻、新高、巨若葉、潮、朝風、子日、巨海風、
 山風、檜、榎、巨時津風、磯風、天津風、沼風、沼風、
 巨水七三、水七二、水七四、水七五
 【釜】 山 巨柏、杉、松、榎
 【秦皇島】 巨鏡摩
 【天津】 巨綾波、磯波、浦波
 【南洋群島】 巨勝力、松江、多摩丸、日高丸
 【浦】 日進
 【上海】 巨關東、膠州、武藏、廣遠丸
 【漢】 巨對馬、剛田、磯峨
 巨鳥羽

海軍公報 第二千八百七十三號 大正十一年五月九日

【長】 沙 伏見
 【宜】 昌 宇治
 【バリスツクパン】 野間
 【航海中】
 襟裳(二日「タラカン」發横須賀へ)
 洲崎(四日「バリスツクパン」發徳山へ)
 滿州(四日横須賀發)
 佐多(四日「タラカン」發徳山へ)
 大泊(八日鳥羽發杵築へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
 特務艦高崎宛
 五月二十五日迄到著見込ノモノハ
 同 三十日迄 同 横須賀
 同 六月六日迄 同 吳
 同 十一月十一日迄 同 舞世
 同 十一月十五日迄 同 佐保
 同 十一月二十一日迄 同 舞鶴
 其ノ後ハ 同 須賀

四三九

○滞在地變更

海軍軍醫大尉島田稻水ハ吳ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀五月八日認許セラレタリ

○正誤

本月六日辭令欄海軍書記岩永啓ノ辭令海軍艦政本部附ハ勤務ノ誤

(部内限二頁)

海軍公報

第二千八百七十四號

大正十一年五月十日(水)

海軍大臣官房

○辭令

○大正十一年五月九日

任海軍屬

住本 德治

給十一級俸

任海軍技手

近藤 年

給六級俸

任海軍技手

藤田 守三

給七級俸

任海軍技手

遠藤 且見

給月俸六拾圓

海軍大臣官房附ヲ命ス

海軍屬 住本 德治

(各通)

海軍技手 近藤 年

吳海軍工廠附ヲ命ス

同 藤田 守三

水路部附ヲ命ス

海軍技手 遠藤 且見

依願免本官(以上海軍省)

海軍書記 宮副 熊一

第二課附ヲ命ス(海軍省經理局)

海軍屬 安 島 安

○艦船所在

指定ヲ要セス

○五月十日午前十時調

【横須賀】 口長門、ト金剛、ト磐手、八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、阿蘇、千早、区峯風、澤風、沖風、矢風、区夕風、沙風、太刀風、帆風、區秋風、灘風、羽風、島風、区夕立、白露、夕暮、三日月、区初雪、春風、初春、区初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、区追風、疾風、彌生、夕風、浦風、時雨、野風、区潜九、潜八、区潜一四、潜一五、区潜二六、潜二五、区潜二九、潜二八、潜三〇、区潜三九、潜三八、潜四〇、潜四一、尻矢、青島、高崎、第十八小野丸

【石川島】 遷、鼠

【横濱】 安宅

【浦賀】 五十鈴、遠

【館山】 区鶴、雄、鷗、白鷹

【大湊】 区櫻、椿、榎、桑

【吳】 区天龍、ト矢矧、韓崎、伊勢、球磨、多摩、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平月、明石、石見、

海軍公報 第二千八百七十四號 大正十一年五月十日

四四一

千歲、淀、區菊月、水無月、長月、區藤、萩、瀨、萬、
區谷風、菊、葵、江風、卯月、區潛一〇、潛一一、潛一二、
區潛一三、潛一六、潛一七、區潛二三、潛一九、
潛二〇、區潛二二、潛二四、潛二七、區潛三五、
潛三四、潛三七、潛四四、潛三一、大和、能登呂、
室月、劍崎

【大 阪】 蓼
【神 戶】 加賀、潛三一、潛四六、潛四七
【宮 島】 駒橋

【德 島】 鶴見、知床
【佐世保】 陸奥、霧島、比叡、出雲、由良、龍田、

肥前、敷島、須磨、常磐、最上、區楠、桂、梅、
楓、區竹、棚、梨、椛、區柳、栗、梅、
楡、區葦、炭、菱、區白雪、篠、野分、松風、
區潛二一、潛一八、潛三三、潛四五、潛六二、區鷺、鶉、
雲雀、鶴、野山、野鳥

【大村灣】 櫻、檜、柳、桃
【長 崎】 土佐、名取
【小 濱】 長良

【馬 公】 利根、區樺、橘、櫻、樹、區潛四三、潛四二
【新舞鶴】 區春日、安藝、薩摩、鹿島、香取、
吾妻、新高、區若葉、潮、朝風、子日、區海風、
山風、檜、榎、區時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、
區水七三、水七二、水七四、水七五
【釜 山】 區柏、杉、松、柳

【秦皇島】 筑摩
【天津】 區綾波、磯波、浦波
【南洋群島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸

【浦 鹽】 日進
【上 港】 關東、膠州、武藏、廣速丸

【漢 口】 對馬、岡田、嵯峨
【長 沙】 鳥羽
【宜 昌】 伏見
【巴拿馬】 宇治
野間

【航海中】

襟裳(二日)「タラカン」發橫須賀へ)

洲崎(四日)「バリックパン」發德山へ)

滿州(四日)「タラカン」發德山へ)

佐多(四日)「タラカン」發德山へ)

大泊(八日)鳥羽發杵築へ)

木曾(九日)鹿兒島發)

日向(九日)佐世保發舞鶴へ)

潛三六(九日)吳發豐後水道へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先

第六驅逐隊(夕立、白露、三日月、夕暮)宛

五月十四日迄到着見込ノモノハ 横 須 賀

同 十八日迄 同 大 湊

其ノ後ハ 小樽郵便局留置

○外國出張

後發神威艦裝員海軍中佐水落高五郎、海軍主計少佐林
貞雄、海軍大尉多田武雄、海軍軍醫大尉堀田慎之、外
准士官下士官兵ハ來ル六月七日横濱出港ノ加賀丸ニテ
渡米ノ豫定

○大正十一年度海軍省所管歳入歳出科目表中正誤

頁	行	段
八二	五	五
八三	六	五
九三	一	五
九九	五	六

「翌年度へ繰越明許ノ費途」ヲ脱ス
 「翌年度へ繰越明許ノ費途」ヲ脱ス
 「翌年度へ繰越明許ノ費途」ヲ脱ス
 「ケシ」ヲ脱ス

海軍公報

第二千八百七十五號

海軍大臣官房

大正十一年五月十一日(木)

○通牒

官房第一七六五號ノ三

大正十一年五月十一日

海軍次官 井出 謙 治

各關係廳長殿

國有財産法實施ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通り大藏次官ヨリ照會有之候ニ付了承ノ旨及回答置候條御了知相成度
右通牒ス

(別紙)

藏第三三四七號

大正十一年三月二十九日

神野 大藏 次官

井出海軍次官殿

國有財産法ハ本年四月一日ヨリ朝鮮、臺灣及樺太ニモ之ヲ施行シ又關東州ニハ別ニ單行勅令制定ノ見込ニテ

夫々拓殖局ト協議中ニ有之候處尙調査ヲ爲スノ必要有之到底豫定ノ通り實施相成難ク認メラレ候ニ付テハ該地方所在ノ國有財産ニシテ朝鮮、臺灣各總督府、樺太廳及關東廳ノ所屬ニアラサルモノハ本年四月一日以降右手續ヲ了スルニ至ル迄ノ間國有財産法令ノ規定ニ依リ御取扱相成候様致度此段及照會候也

經豫第二一四號

大正十一年五月十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

大正十一年三月大藏省令第二十號「會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ様式及記入ノ方法並書類ノ様式」中何々「官氏名」トアルハ海軍ニ於テハ何々「職氏名」トシテ掲記ノコトニ一定致シ候
右通知ス

○辭令

海軍公報 第二千八百七十五號

大正十一年五月十一日

四四五

○大正十一年五月十日

任海軍書記兼海軍屬
給十級俸

渡邊 秀雄

正四位勳一等 閣

賞

海軍經理學校行政法教授囑託ヲ解キ海軍經理學校商
工政策教授ヲ囑託ス

但報酬月額九拾圓ヲ贈與シ部内限リ勅任官待遇ト
ス(明海軍省)

海軍書記兼海軍屬

渡邊 秀雄

海軍艦政本部附兼海軍省經理局附ヲ命ス(明海軍省)

海軍技手 遠藤 且見

第二課勤務兼第一課勤務ヲ命ス(明水路部)

海軍大佐 福與 平三郎

陸海軍航空協定委員ヲ命ス(明陸軍省)

○艦船所在

印(ハカ)ノ
指定ヲ要セス

○五月十一日午前十時調

【横須賀】 口長門、▽金剛、▽磐手、八雲、生駒、
山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、
阿蘇、千早、▽峯風、▽澤風、▽沖風、▽矢風、
▽夕風、▽沙風、▽太刀風、▽帆風、▽夕立、▽白露、▽夕暮、
▽三日月、▽初雪、▽春風、▽初春、▽初霜、神風、

響、如月、吹雪、有明、▽追風、疾風、潮生、夕風、
浦風、時雨、野風、▽潜九、潜八、▽潜一四、潜一五、
▽潜二六、潜二五、▽潜二九、潜二八、潜三〇、▽潜三九、
潜四〇、潜四一、尻矢、青島、高崎、第十八小野丸

【石川島】

蓬、龜

【横濱】

安宅

【浦賀】

五十鈴、遼

【館山】

▽白鷺、雄、白鷺

【大湊】

▽櫻、椿、檜、榮

【吳】

▽天龍、▽矢矧、韓崎、伊勢、球磨、多摩、
扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、明石、石見、
千歲、淀、▽菊月、水無月、長月、▽藤、萩、薄、葛、

▽谷風、菊、葵、江風、卯月、▽潜一〇、潜一一、潜一二、
▽潜一三、潜一六、潜一七、▽潜二三、潜一九、
潜二〇、▽潜二二、潜二四、潜二七、▽潜三五、
潜三四、潜三七、潜四四、大和、龍登呂、室戸、
劍崎、鶴見

【大阪】

蓬

【神戶】

加賀、潜三一、潜四六、潜四七

【徳山】

知床

【別府】

潜三六

【佐世保】

陸奥、霧島、比叡、出雲、由良、龍田、
肥前、敷島、須磨、常磐、最上、▽楠、桂、梅、
▽楓、▽竹、▽榎、▽栗、▽梅、
▽檜、▽葎、▽萩、▽白雲、▽霞、▽野分、松風、

潜二一、潜一八、潜三三、潜四五、潜六二、潜一〇、潜一
 雲雀、鶴、勢山、野鳥
 【大村灣】 口櫻、檜、柳、桃
 【長崎】 土佐、名取
 【小濱】 長良
 【馬公】 利根、樺、橘、櫻、桐、潜四三、潜四二
 【新舞鶴】 口春日、大井、安藝、薩摩、鹿島、香取、
 吾妻、新高、若葉、潮、朝風、子日、海風、
 山風、檜、時津風、磯風、天津風、濱風、沼風、
 水七三、水七一、水七四、水七五
 【釜山】 口柏、杉、柳
 【鎮海】 松
 【秦皇島】 筑摩
 【天津】 口綾波、磯波、浦波
 【南洋群島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸
 【上港】 關東、膠州、武藏、廣速丸
 【上海】 口對馬、隅田、嵯峨
 【漢口】 鳥羽
 【長沙】 伏見
 【宜昌】 宇治
 【バツクパン】 野間

【航海中】

日油(露領沿海州行動中)
 標袋(二日「タラカン」發横須賀へ)

海軍公報 第三千八百七十五號 大正十一年五月十一日

洲崎(四日「バツクパン」發徳山へ)
 滿州(四日横須賀發)
 佐多(四日「タラカン」發徳山へ)
 大泊(八日鳥羽發杵築へ)
 木曾(九日鹿兒島發)
 日向(九日佐世保發舞鶴へ)
 駒橋(十日宮島發江田内へ)
 秋風、灘風、羽風、島風(十日横須賀發小笠原へ)
 潜三八(十日横須賀發相模灘へ)
 潜三二(十日吳發唐津へ)

○雜款

○郵便物發送先
 練習艦隊司令部、警手宛
 五月十六日迄到著見込ノモノハ 横須賀
 同 二十四日迄 同 宮島
 同 二十六日迄 同 吳
 同 三十一日迄 同 江田
 其ノ後ハ 横須賀
 淺間 宛
 五月十八日迄到著見込ノモノハ 吳
 其ノ後ハ 司令部ニ同シ
 出雲 宛

五月二十三日迄到着見込ノモノハ、佐世保
其ノ後、司令部ニ同シ

○練習艦隊（磐手、出雲、浅間）行動豫定

宮島	五月二十一日	五月二十五日
廣島灣	二十五日	二十六日
吳	二十六日	二十九日
江田内	二十九日	六月一日
横須賀	六月四日	

○特務艦勢山行動豫定

地名	著	發
佐世保		五月二十二日
吳	五月二十四日	二十八日
横須賀	三十一日	

○滞在地變更

海軍機關少尉楠田授一ハ横須賀ヨリ吳へ滞在地變更ノ儀五月十日認許セラレタリ

(部内限一頁)

1850

海軍公報

第二千八百七十六號

大正十一年五月十二日(金)

海軍大臣官房

○通牒

教本第五九八號

大正十一年五月十二日

海軍教育本部副官

各鎮守府文庫兵備品會計官吏殿
艦船部隊其ノ他各部軍事教育殿
圖書兵備品取扱主任殿

海軍用語(航空術ノ部)配付ニ關スル件

各般第百號ヲ以テ海軍用語(運用術ノ部、航海術ノ部、航空術ノ部、潛航術ノ部)制定發布相成候處其ノ内航空術ノ部ハ目下製版中ニ有之刷成次第所要ノ向ヘ配付可相成候條御承知相成度
右爲念通牒ス

○辭令

廣島地方裁判所所屬辯護士 吉田 眞策
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(請テ海軍大臣)

依願免本官(請テ海軍省)海軍技手 吉澤 藤重
海軍技手 野村 豊
第一部勤務ヲ命ス(請テ海軍艦政本部)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月十二日午前十時調

〔横須賀〕 口長門、ト金剛、ト磐手、八雲、生駒、山城、榛名、朝日、三笠、若宮、鳳翔、北上、富士、阿蘇、千早、巨峯風、澤風、沖風、矢風、区夕風、沙風、太刀風、帆風、区夕立、白露、夕暮、三日月、区初雪、春風、初春、区初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、区追風、疾風、彌生、夕風、浦風、時雨、野風、区潜九、潜八、区潜一四、潜一五、区潜二六、潜二五、区潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、区鴻、雄、鷗、白鷹、尻矢、青島、高崎、第十八小野丸、〔石川島〕 蓬、龜
〔横濱〕 安宅
〔浦賀〕 五十鈴、遼

海軍公報 第二千八百七十六號

大正十一年五月十二日

四四九

1851

【天 湊】 區樺、樺、檜、桑

吳、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、明石、石見、千歲、淀、區菊月、水無月、長月、區藤、萩、薄、萬、卯月、區潛一〇、潛一一、潛一二、區潛一三、

潛一六、潛一七、區潛二三、潛一九、潛二〇、

區潛三二、潛二四、潛二七、區潛三五、潛三四、潛三七、

區潛四四、大和、能登呂、室戸、劍崎、鶴見

【大 阪】 蓼

【神 戶】 加賀、潛三一、潛四六、潛四七

【德 山】 知床

【別 府】 潛三六

【佐世保】 陸奥、霧島、比叡、出雲、長良、由良、

龍田、肥前、敷島、須磨、常磐、最上、區楠、桂、

梅、楓、區竹、榎、梨、松、區梯、栗、梅、

榦、區葦、萩、白、霞、野分、松風、松、

區潛二一、潛一八、潛三三、潛四五、潛六一、區鷺、鶉、

雲雀、鶴、勢山

【西 戸 崎】 野島

【唐 津】 潛三二

【長 崎】 土佐、名取

【馬 公】 利根、區樺、橋、櫻、桐、區潛四三、潛四二

【新 舞 鶴】 區日向、春日、區木曾、大井、安藝、

薩摩、鹿島、香取、吾妻、新高、區若葉、潮、朝風、

子日、區海風、山風、檜、榎、區時津風、磯風、天津風、

濱風、沼風、區水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮 海】 區柏、杉、柳

【秦 皇 島】 區旣摩

【天 津】 區綾波、磯波、浦波

【南 洋 群 島】 勝力、松江、多摩丸、日高丸

【上 海】 關東、膠州、武藏、廣速丸

【長 沙】 區對馬、岡田

【宜 昌】 伏見

【巴 拿 馬】 宇治

【航 海 中】 野間

日進(露領沿海州行動中)

襟袋(二日「タラカン」發橫須賀)

洲崎(四日「バリスツクババン」發德山)

滿州(四日橫須賀發)

佐多(四日「タラカン」發德山)

區秋風、灘風、羽風、島風(十日橫須賀發小笠原)

磯峨(十一日上海發漢口)

鳥羽(十一日漢口發上海)

區樺、柳、桃(十一日大村灣發佐世保)

區谷風、菊、葵、江風(十一日吳發伊豫灘)

區潛二九、潛二八、潛三〇(十一日橫須賀發吳)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第三艦隊司令長官ハ昨十一日旗艦ヲ春日ヨリ日向ニ變更セリ

○ 司令潜水艦變更
第五潜水隊司令ハ昨十一日司令潜水艦ヲ第三十九潜水艦ヨリ第三十八潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
第四潜水隊(第二十八、第二十九、第三十潜水艦)宛
爾今 吳

第五潜水隊(第三十八潜水艦)宛
五月三十一日迄到著見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 第一潜水隊隊所在地
第三十九潜水艦宛
當分ノ間 横須賀

軍艦利根宛
六月 九 日迄到著見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 馬公

○ 郵便物發送先變更(本月四日)
特務艦野島宛

五月十六日迄到著見込ノモノハ 西戸崎
其ノ後ハ 佐世保局留置

○ 赴任
小倉海軍大佐帝國空軍代表隨員被仰付來五月三十日神戸發伏見丸ニテ出發ノ豫定

○ 轉官
海軍技手中村又一ハ去月二十九日長崎縣技手ニ轉任セリ

○ 滯在地變更
海軍軍醫少佐田上中次ハ東京ヨリ佐世保へ滯在地變更ノ儀五月十一日認許セラレタリ

○ 正誤
昨十一日日本欄練習艦隊行動豫定中宮島著ノ五月二十一日ハ五月二十四日ノ誤

退役海軍中將正三位勳二等功四級男爵内田正敏五月十一日薨去、葬儀ハ五月十四日午後二時青山齋場ニ於テ神式ニ依リ執行

後備役海軍少將從四位勳三等久保田彦七本月十日
卒去、來十四日神奈川縣鎌倉町雪ノ下八十八番地
宇巨福呂坂自宅ニ於テ告別式施行

(部内限三頁)